

沖縄県立芸術大学共催

沖縄の工芸

人間国宝と現代作家たち



2019.

9/13 **金** - 11/11 **月**

会期中無休

【開館時間】 9:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

【入館料】 一般620(510)円 高大学生310(210)円

小中学生150(100)円

* () 内は20名以上の団体料金

* 10月1日から入館料の変更が予定されています

【主催・会場】 石川県輪島漆芸美術館

【後援】 石川県・輪島市

石川県輪島漆芸美術館文化講座 第3回漆文化セミナー

「知られざる琉球漆器の世界」9月22日(日) 13:30～

講師：四柳嘉章(石川県輪島漆芸美術館館長)

(写真上から) 鳥袋常秀《呉須袖抜絵草文皿》2012年

金城唯喜《朱漆鳳凰牡丹文沈金東道盆》1986年

平良敏子《経緯緋芭蕉》1986年

いずれも沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵

WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART

石川県輪島漆芸美術館



〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地

TEL: 0768-22-9788 FAX: 0768-22-9789

<https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>



沖縄の工芸

人間国宝と現代作家たち

(写真右上から)《絹浅地牡丹尾長鳥燕
鶴菖蒲文様紅型踊衣裳》1970年代／新垣栄三郎《赤絵面取壺》1980年／吉田
匡廣《友禅コチニール染屏風「空」》
1992年／金城次郎《線彫魚海老紋花瓶》
20世紀／宮平初子《総緋》20世紀
いずれも沖縄県立芸術大学附属図書・
芸術資料館所蔵

日本列島の南に位置する沖縄は、琉球王国以来の個性的な文化が形成されたことで知られ、その特色が顕著に継承された工芸の分野では、今日も伝統を踏まえつつ、さらなる挑戦が行われています。

本展覧会では、「沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究すること」を建学の理念として掲げる沖縄県立芸術大学と連携し、その附属図書・芸術資料館所蔵作品と同大学関係者の作品から、沖縄の工芸の伝統と現在を紹介します。南国の風土がはぐくんだ独特の多様な技法と素材は、私たちを魅了してやみません。

日本を代表する漆器産地である輪島もまた感性を磨き高い美意識をもって漆文化の継承と発展につとめています。この地において沖縄の工芸を紹介し、相互のエネルギーをより高い次元に昇華させるまたとない機会となれば幸いです。

出品作家 (写真掲載作品は省略)

新垣幸子 嘉手納並裕(角萬漆器) 徳吉マサ

(以上沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵作品)

糸数政次 小野さやこ 金城宙矛
島袋克史 當眞 茂 渡名喜はるみ 名護朝和
花城美弥子 本田伸明 真栄城興茂 水上 修
宮城愛美 山田サトシ (五十音順)

石川県輪島漆芸美術館文化講座 第3回漆文化セミナー
「知られざる琉球漆器の世界」9月22日(日)13:30～
講師：四柳嘉章(石川県輪島漆芸美術館館長)



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十筋 11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>



■交通案内 飛行機：羽田空港→(約60分)→のと里山空港→(車=約20分)→漆芸美術館
車：金沢市内→(のと里山海道利用=約100分)→漆芸美術館
(自家用車・大型バス駐車場有(無料))

バス：金沢駅→北鉄奥能登バス輪島特急=約120分→道の駅・輪島ふらっと訪夢
乗換え→のらんけバス 海コース=約10分→漆芸美術館下車
徒歩：道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」→約15分→漆芸美術館

次回展覧会案内
「第25回 飛翔する輪島の漆芸作家たち
— 全国展入選作品 —」
11月16日(土)～2020年1月19日(日)

本券1枚につき8名様まで
団体料金で入館できます。
割引券